

「本草綱目」の古より、
“嘔逆を止め、酒毒を解す”と記された生薬 キ グ シ 枳椇子 こと

ケンポナシ

Hovenia Fruit & Seed



ケンポナシ *Hovenia Fruit & Seed*

概 要	ケンポナシの果柄や果実・種子は、生薬の枳椇子（キグシ）として中国・明代の本草書「本草綱目」に“嘔逆を止め、酒毒を解し、蟲毒を避ける”と記され、古くから飲酒による健康被害に用いられ、二日酔いや吐き気などに対する民間薬としても利用されてきました。近年になって、臨床や薬理研究で二日酔いや酒酔いの軽減作用、アルコール性肝障害などに対する肝保護作用などが確認されています。また、植物図鑑などには、よく熟したケンポナシの実が梨のような味がするので子供や野生動物が好んで食べるという記述があり、味も良く、食品やサプリメントに配合しやすい素材です。
基 原	ケンポナシ <i>Hovenia dulcis</i> (クロウメモドキ科)
使用部位	主に果実、種子、多肉質果柄を伴った果実が用いられています。
食薬区分	キグ(ケンポナシ)の果実、果柄は「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)リスト」に掲載
主な成分	ampelopsin、hoveadulcicoside類、ショ糖など
臨床研究	二日酔いや酒酔いの軽減などの臨床試験が報告されています。
薬理研究	アルコールの吸収抑制(阻害)や代謝促進作用のほか、アルコールによる肝障害、薬物や免疫に起因する肝障害に対する肝保護作用、鎮吐作用、緩下作用、抗アレルギー作用の報告があります。
安全性	ケンポナシは、古くから中国、日本、韓国で使用されてきましたが、健康被害の報告は見当たりません。また、急性毒性試験において22g/kg(マウス、経口投与)で死亡例や中毒症状が認められなかったことが報告されています。以上のことから、適切に使用すれば安全と考えられます。

製品ラインナップ (食品原料)

製品名	ケンポナシエキス	ケンポナシエキス末
一般名称	ケンポナシエキス	ケンポナシエキス
最終製品での推奨原料表示名	例)ケンポナシエキス	例)ケンポナシエキス末(デキストリン、ケンポナシエキス)
成分または組成	本品は、ケンポナシ <i>Hovenia dulcis</i> (<i>Rhamnaceae</i>)の多肉質果柄のついた果実及び種子を水で抽出して製した軟エキス	本品は、ケンポナシ <i>Hovenia dulcis</i> (<i>Rhamnaceae</i>)の多肉質果柄のついた果実及び種子を水で抽出して製したエキス末 デキストリンを含有
形 状	軟エキス	エキス末
分 類	食品原料	食品原料
1日最大摂取量	3g	8g
包装単位	2kg、10kg	1kg、8kg

※本資料は、一般消費者の方に対する情報提供を目的としていません。また特定の商品の効果効能をうたうものではありません。

各種製品に関するお問い合わせは…

天然物を科学し、創意工夫する。
 **松浦薬業株式会社**

〒466-0054
 愛知県名古屋市中区丸の内24番21号
 E-mail : info@matsuura-gp.co.jp

松浦薬業 原料情報 検索

TEL (052) 883-5151